



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：ファオ港建設定礎式の開催

(4月5日、6日付サバーハ紙)

1. 4月5日、アブドルジャッバール運輸相は、ファオ港への国際的投資受け入れの第一歩として同港の定礎を設置した。悪天候で参加出来なかった首相の代理として出席したアブドルジャッバール運輸相は「ファオ港開発事業は世界の国々を、イラクを通じて繋ぐ戦略的的事业である」とスピーチした。同式典にはバスラ県知事、県議会副議長等が参加した。
クディール港湾公社総裁によれば、外国企業の投資により、今後トルコと繋ぐ鉄道建設、航路の浚渫、第一期工事として33埠頭の建設など多くの工事が行われる模様。
2. アブドルジャッバール運輸相によれば、イタリア企業連合が今後1カ月以内に工事を開始する。ファオ港にトルコ国境へ向かう鉄道が接続することで、イラクの運輸インフラ事情が大きく改善される。同運輸相は、「イタリア企業連合が建設するファオ港は、イラクで最大の港となる。ファオ港は鉄道と接続することで、物資を南北に早く、安価に、安全に運ぶ、いわば乾いた運河(dry canal)を形成するものである」と述べた。同イタリア企業連合は、テクニタル社他から構成されている。
3. イタリア外交官筋は、「ファオ港は世界的に見ても最大規模のものとなる。コンテナ船をはじめ最大規模の船舶の受け入れが可能であり、イタリアは港湾の計画、建設、管理と、工業地帯に関する計画と技術協力を提供する」と述べた。
4. 34億ユーロ規模の本事業は、過去30年間でイラク最大のインフラ事業であり、イラク内外の官民のファイナンスが提供される。運輸省によれば、ファオ港は100の埠頭と9,900万トンの年間容量を持つことになる。